

● 意思表示書を書いてみましょう！

あなたは、老衰や認知症・がんなどが進行し終末期(治療効果がなく死を意識するようになった時期)の状態を迎えたときに、以下の終末期医療についてどのようにして欲しいと希望しますか？

① 飲み込む力がなくなり食事がとれなくなったとき

- ① 自分で食べられなくなっても、胃管を入れたり、胃ろうを作ったりしないでください。点滴もしないでください。そのために生きていけなくなってもかまいません。
- ② 胃管や胃ろうは希望しませんが、水分補給のため点滴を必要に応じてしてください。命が短くなるのは受け入れます。
- ③ 生きていくための栄養をとるために必要なら、胃管を入れたり、胃ろうを作ってください。点滴もしてください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

② 身体の衰弱で心臓が止まったとき

- ① 心臓マッサージを希望しません。
- ② 心臓マッサージを希望します。
- ③ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ④ その他 ( )

③ 肺炎などのために呼吸状態が悪化し生命を維持するため人工呼吸器が必要になったとき

- ① 人工呼吸器はつけないでください。何もしないでください。そのために生きていけなくなってもかまいません。
- ② 人工呼吸器は希望しませんが、マスク式の補助装置はつけてください。必要なら酸素吸入もしてください。治療効果が不十分で命が短くなっても受け入れます。
- ③ 生きていくため、治療するために必要なら、人工呼吸器をつけてください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

④ 肺から酸素を取り込む力が衰えたら

- ① 酸素吸入はしません。
- ② 酸素吸入をします。
- ③ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ④ その他 ( )

⑤ 痛みなどの苦痛が出たら

- ① 通常の鎮痛剤も麻薬も使用しないでください。何もしないでください。
- ② 麻薬は希望しませんが通常の鎮痛剤は使ってください。
- ③ 通常の鎮痛剤や麻薬を十分に使い、痛みを取ってください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

⑥ だるさや息苦しさのため医師から症状緩和を目的としたステロイドの使用を勧められたら

- ① ステロイドは使わないでください。何もしないでください。
- ② ステロイドは使わないで、他の方法で苦痛を和らげてください。
- ③ 苦痛をとるためならステロイドを使用してください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

⑦ 痛みを和らげるため放射線をあてることや神経ブロックを勧められたら

- ① 受けません。
- ② 受けます。
- ③ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ④ その他 ( )

⑧ 医師から苦痛を和らげる目的で手術を勧められたら

- ① 手術はしないでください。
- ② 詳しく説明を受けて、自分(あるいは家族)がその時決めます。
- ③ 苦しみをとる手術ならしてください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

⑨ 腎臓の動きが悪くなってきたときには

- ① 腎臓が悪くなっても血液透析や腹膜透析はしないでください。そのために生きていけなくなってもかまいません。
- ② 血液透析は希望しませんが、腹膜透析はしてください。それができなくなったら、命がなくなるのは仕方ないと受け入れます。
- ③ 命を延ばすために必要なら、血液透析をしてください。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )

⑩ あなたは最期の時をどこで迎えたいと考えていますか？

- ① 自宅で迎えたい。
- ② 病院で迎えたい。
- ③ 施設で迎えたい。
- ④ 家族や医療チームの判断に任せます。
- ⑤ その他 ( )